



カテゴリ: 地域活性化

2024年5月30日

第24016号

日本航空株式会社

## いつの日か、ただいまといえるまちへ 「JALふるさとむすび」5月30日からサービス・イン

～ 地域と都市をつなぐマッチングプラットフォームで関係人口創出へ ～

JALは、2024年5月30日(木)より、地域と都市をつなぐオリジナルのマッチングプラットフォーム「JALふるさとむすび」のサービスを開始します。

「JALふるさとむすび」は、人材を求める地域の自治体や事業者がさまざまなプログラムを企画・募集し、一方で移住にまで至らずとも都市部に暮らしたまま地域課題の解決にチャレンジしたいという都市生活者が求めるコンテンツを探して地域と出会い、お互いのニーズを結ぶことができるマッチングプラットフォームです。各種プログラムは、それ自体が旅の目的とも成り得るような地域を体験できる情報を取り揃えており、地域の人々との温かい触れ合いが、いつの日か、ただいまといえる「ふるさと」になる場所への新しい人流を形成し、「関係人口(※)」の創出につなげます。

### ABOUT

## 地域と都会をつなぐ 関係人口創出型マッチングプラットフォーム



地域に関わる人を増やしたい  
プログラムオーナー  
(自治体・地域事業者)  
BUSINESS



体験プログラム  
を作成・募集



マッチング

いつの日か、ただいまといえるまちへ。  
JAL ふるさとむすび



興味のある  
プログラムに応募



地域と深く関わりたい  
ユーザー  
CUSTOMER

地域と関わりたい！と感じている方が、自分に合った様々な地域での体験を探し、  
自分に合った「新たなふるさと」とマッチング。  
色々なかたちでの地域との出会いを、ワンストップに創り出すことを目指しています。

(※)「関係人口」とは、観光で一度行くだけの「交流人口」やその地域に住む「定住人口」ではなく、地域と継続的かつ多様な形で関係を持つ人のことを意味します。

「JALふるさとむすび」において、ユーザーはご自身のニーズにあったエリアやコンテンツ、期間や予算など検索機能を活用してプログラムを見つけることできるほか、特集記事「JALふるさとむすびMAGAZINE」や移住体験談などのコラムからご自身に合う地域と出会うことも可能です。これらの機能で見つけたプログラムに対し、詳細を相談できるメッセージ機能によって地域の方とのコミュニケーションが生まれ、実際に参加することで地域とつながり、滞在後のフォローアップなどを通じて「新たなふるさと」が生まれます。また、プログラムオーナー側で用意する予約サイトとオンラインで完結する申込機能も備えております。

一方、プログラムオーナーは、掲載した募集コンテンツのPV数などがレポート化され、提供されるオリジナルのダッシュボードからデータ分析を行い、さらにプログラムをブラッシュアップすることが可能です。



JALは令和4、5年度に農林水産省「農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)」を活用し、「JAL農業留学」「JALふるさとワーキングホリデー」などの取り組みを実施し、地域への移住や就農を希望する方々に向けて、農作業などを行う地域体験研修を提供してまいりました。「JALふるさとむすび」は、この実績と経験が形になったものです。

## JALふるさとむすび

URL : <https://furumusu.jal.co.jp>

参加条件:

- ① プログラムに参加するユーザー
  - ・JALマイレージバンク会員の登録が必要です。登録は無料です。
  - ・参加条件や費用などは、各プログラムにてご確認ください。
- ② プログラムオーナー
  - ・プログラムの掲載には費用が発生します。
  - ・掲載に際し、各種手続きや条件がございます。
  - ・掲載受付開始日: 5月30日(木)10時～

問い合わせ: JAL ふるさとむすび事務局 ([jal-furumusu@connec-t.jp](mailto:jal-furumusu@connec-t.jp))

JALグループは地域との関係・つながりを増やし、社会的・経済的価値を創出するため、「JALふるさとプロジェクト」としてさまざまな取り組みを実施しております。引き続き地域社会に寄り添い共に考え行動することで人口減少や高齢化による後継者不足などの社会や地域課題のソリューションにつなげ、多くの人々やさまざまな物が自由に行き交う、心はずむ社会・未来を創造してまいります。

以上